

防災週間

8月30日(水)～9月5日(火)

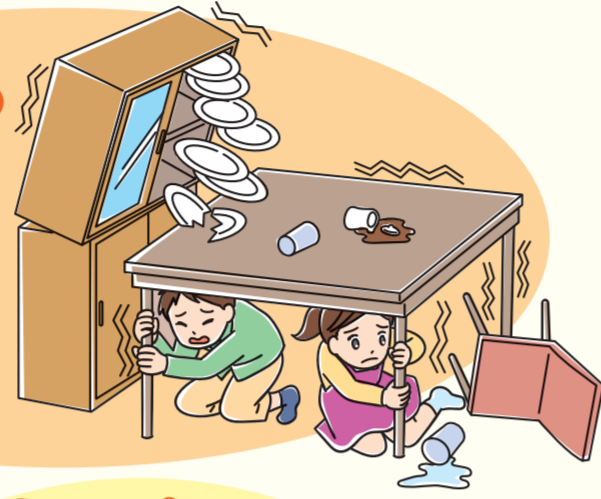


▶地震だ! まずは身の安全を!

緊急地震速報を受けたり地震の揺れを感じたら、まず身の安全を最優先しましょう。自分の身の安全を図ることで、けがを防止、地震後の避難や救出・救護などがスムーズに行えます。

①地震がきたら...

丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。



②地震の揺れがおさまったら... ③安全の確認ができたなら...

揺れがおさまってから慌てず行動しましょう。

ご近所同士、協力しましょう。

火を消す



出火した時は、落ちついて消火しましょう。

出口の確保

外に出るときは落下物に注意しましょう。



門や塀は危険

ブロック塀などには近寄らないようにしましょう。



安否を確認



家族や近隣の安否、出火の有無をお互いに確認しましょう。

電気とガスを確認

避難時には、復電時の通電火災やガス漏れを防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めましょう。



確かな避難を



声を掛け合い、一時集合場所や避難場所に避難しましょう。

キウータが答える! 災害時Q&A!

もっと詳しく知りたい方は、新しくなった「地震その時10のポイント」をご覧ください。



災害時、具体的にどんなものを備えておけば大丈夫ですか。

非常用の持ち出し品や3日分の食糧等の備蓄をお願いします。詳しいリストなどを当HPで紹介しています。



▶地震に備える 地震から命を守る、家具類の転倒・落下・移動防止対策

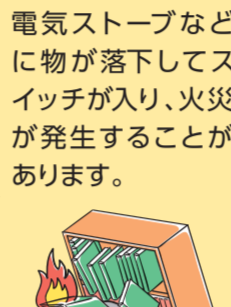
3つの危険

1.けが



地震時、けが人の約3～5割が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。

2.火災



電気ストーブなどに物が落下してスイッチが入り、火災が発生することがあります。

3.避難障害

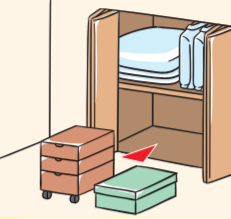


倒れた家具等が避難経路をふさいでしまい、避難の妨げになることがあります。

3つの対策

1.集中収納

クローゼットや据え付け収納家具へ集中収納し、生活空間には家具類を置かないようにしましょう。



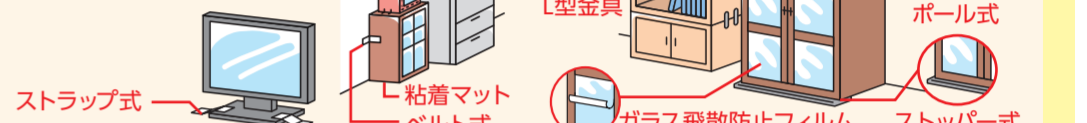
2.レイアウトの工夫



倒れた家具などでドアが開かず、避難できないため、家具類の配置や置く方向を見直しましょう。

3.対策器具設置

家具類に適した対策器具を設置しましょう。



防災館

防災館では、地震の揺れや煙、初期消火、応急手当などをツアー形式で体験訓練できます。ぜひご来館ください。



池袋防災館



毎週金曜日に「ナイトツアー」を実施しています。夜間を想定した防災体験ができます。

豊島区西池袋2-37-8 TEL/03-3590-6565
休館日/第1・第3火曜日及び第3火曜日の翌日(祝日の場合はその翌日)

※各館とも開館時間は午前9時から午後5時までです。(池袋防災館のみ毎週金曜日は午後9時まで開館しています。)

本所防災館



屋内だけでなく、屋外やコンビニを想定した地震体験ができます。

墨田区横川4-6-6 TEL/03-3621-0119
休館日/水曜日・第3木曜日(祝日の場合はその翌日)

立川防災館



防災クイズやリニューアルした煙体験室の防災体験を通じて親子で防災を学べます。

立川市泉町1156-1 TEL/042-521-1119
休館日/木曜日・第3金曜日(祝日の場合は直後の平日)

東京消防庁災害時支援ボランティア募集中!

震災等発生時に消防署の支援を行う専門ボランティアを募集しています。※平常時は、地域の防災リーダーとして防災訓練や行事等に参加します。お問い合わせは、最寄りの消防署まで

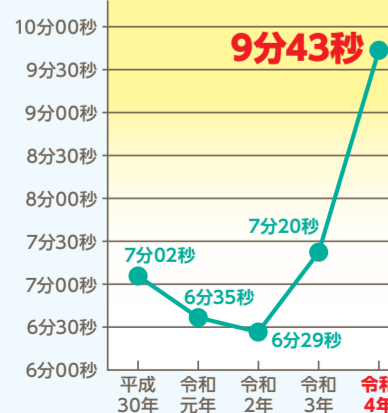


9月9日は救急の日

救急車、到着まで9分43秒!! 救急車は限りある資源です!

救急車の出件件数が増加すると到着時間が延び、一分一秒を争う現場への到着が遅れる恐れがあります。救急車を必要としている人のもとにいち早く到着し、迅速・適切な治療ができるよう、救急車の適正な利用にご協力ください。

救急車の現場到着時間の推移



救急車を呼ぶか迷った時は 東京消防庁救急相談センター「#7119」へお電話を

24時間365日、相談医療チームが救急車の必要性や受診可能な医療機関の案内などを行っています。

また、ご自身で緊急度が確認できる「東京版救急受診ガイド」は東京消防庁のホームページや公式アプリから利用できます。



おなかที่痛いのですが、でも救急車というほどでは...

近くの病院をご案内します。



応急手当を学ぼう

応急手当に自信がない、やり方が分からない方のために、応急手当の方法を学べる動画を東京消防庁HPの電子学習室や東京消防庁公式アプリで配信しています。



さらに応急手当の知識を深めたい方は、救命講習を受講しましょう。電子学習室での事前学習により、短い時間で受講することができる講習もあります。



119番通報後に受けられる応急手当の3つのアドバイス

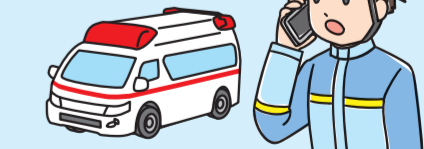
①通信指令員の助言

通報を受けた通信指令員が口頭でアドバイスをを行います。



②救急隊員からの連絡

救急隊が通報者へ電話を掛けて応急手当のアドバイスをを行います。



③音声と映像を共有する「Live119」

通報者のスマートフォンにアクセスし、ビデオ通話によるライブ映像を確認しアドバイスをを行います。

